

授業科目

災害看護学論

担当教員名 三澤 寿美 (非)、宇田 優子	対象学年	4	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	◎

授業の概要

災害を体験した新潟県としての「強み」（蓄積された看護の体験）を活かして、災害看護の基本を講義と演習を通して学ぶ。

授業の目的

災害ならびに不測の事態が発生した場合の看護介入と災害への備えに必要な基礎的知識・技術・態度を修得する。

学習目標

1. 災害サイクルと社会制度、災害看護の基本を説明できる。
2. 災害の種別による被害の違いを対比して、看護活動を関係づけることができる。
3. トリアージの基本的考えを理解し模擬事例に対して実施する。
4. 医療機関と地域・避難所の活動場所に応じた災害看護活動を説明できる。
5. 避難支援方法・応急手当・避難場所での日常生活援助の基本を実施する。
6. 災害時のこころのケアについて、基本的知識・看護介入を列記できる。
7. 災害看護における看護介入や救援チーム、他職種との連携を考察する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	災害看護の概念と役割、災害救援や支援に携わる他職種との連携 こころのケア	講義	宇田 優子
2	医療機関内での災害看護 (1) 病院内の災害体制をグループで調べる	講義・演習	宇田 優子
3	医療機関内での災害看護 (2) グループで調べた内容を発表・討議する	発表・討議	宇田 優子
4・5	救急処置、患者の避難誘導方法	講義・演習	三澤 寿美、宇田 優子 他
6・7	医療機関内での災害看護 (3) トリアージ	講義・演習	三澤 寿美、宇田 優子
8	避難所や地域社会での災害看護	講義	宇田 優子
		* 授業内容や順序を変更する場合があります	

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践?災害看護	酒井明子	メディカ出版	2016年	2,800円+税	
参考書						
その他の資料						

評価方法

課題・学習態度40%程度

筆記試験60%程度

履修上の留意点

事前課題：新潟県内外の災害メモリアル施設の視察を通して、災害看護を考えレポートにまとめること

* 日頃から災害、災害医療と災害看護について、新聞や文献から情報を得て、関心を持つようにする。

オフィスアワー・連絡先

k 5 0 5 研究室。

5~12月まで実習指導で不在が多いので、来室時はメール予約をして下さい。

yuko-uda@nuhw.ac.jp